

# バージョンアップ

1. UpToV11 概要 .....	2
1-1. Create!Form UpToV11 の起動.....	2
1-2. バージョンアップの対象となる帳票資源ファイル.....	2
1-3. 変換対象ディレクトリ.....	2
2. UpToV11 画面説明 .....	3
3. 注意事項 .....	7

## 1. UpToV11 概要

Create!Form UpToV11 は、Create!Form 旧バージョン (Ver. 7/Ver. 8/Ver. 9/Ver. 10) の帳票資源ファイルを、作業ディレクトリ単位で Create!Form V11 フォーマットへ一括変換するモジュールです。

### 1-1. Create!Form UpToV11 の起動

Create!Form UpToV11 の起動方法は以下の通りです。

- ・ マネージャのツールメニュー [ ツール ]-[UpToV11] を選択
- ・ マネージャのディレクトリツリー上の作業ディレクトリを右クリックして表示されるコンテキストメニュー [UpToV11] を選択

### 1-2. バージョンアップの対象となる帳票資源ファイル

(Ver. 7/Ver. 8/Ver. 9/Ver. 10)・・・ .fmd / .dmp / .dbc / .dmx / .sty

### 1-3. 変換対象ディレクトリ

#### [作業ディレクトリ]

作業ディレクトリ内には「form」「datamap」「style」の3つのディレクトリが存在します。

#### [form ディレクトリ]

Form エディタで作成された Form ファイルが保存されています。

#### [datamap ディレクトリ]

Datamap エディタで作成された Datamap ファイルが保存されています。

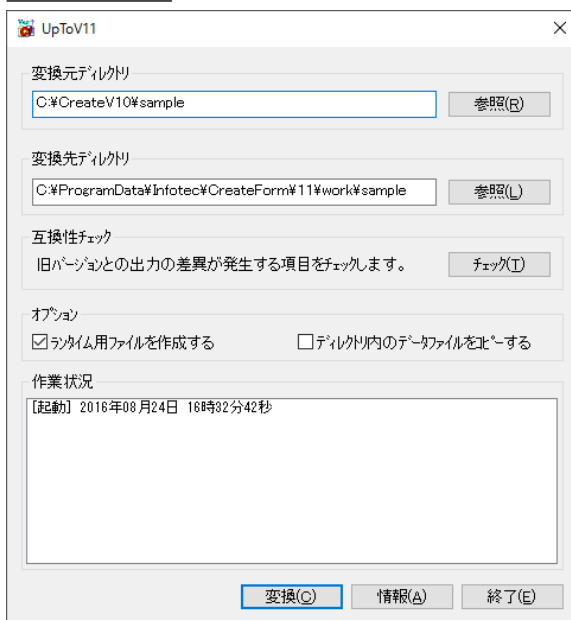
#### [style ディレクトリ]

マネージャで作成された Job ファイルが保存されています。

Create!Form UpToV11 を使用して変換処理を実行すると、指定した変換先ディレクトリへ Create!Form V11 形式の帳票資源ファイルが新規に作成されます。

## 2. UpToV11 画面説明

図 : UpToV11 画面



### [ 変換元ディレクトリ ]

変換元ディレクトリとしては、作業ディレクトリのみ選択が可能です。

### [ 変換先ディレクトリ ]

変換後のファイルを保存する任意のディレクトリを選択します。

※変換元ディレクトリ、変換先ディレクトリの指定方法によって、帳票資源ファイルの保存処理が変化します。

( 変換元 ) 作業ディレクトリ

( 変換先 ) 作業ディレクトリ

ディレクトリの上書き確認後、帳票資源ファイルが変換先ディレクトリ内へ保存されます。  
なお、ディレクトリを上書きすると、変換先ディレクトリのファイルは全て削除されます。

( 変換元 ) 作業ディレクトリ

( 変換先 ) 通常のディレクトリ

変換先ディレクトリ直下に変換元ディレクトリと同名の作業ディレクトリが作成され、帳票資源ファイルが保存されます。

( 変換元 ) 作業ディレクトリ以外

( 変換先 ) 作業ディレクトリ

帳票資源ファイルの変換処理は行われません。

※変換元ディレクトリには作業ディレクトリを指定してください。

(変換元) 作業ディレクトリ以外

(変換先) 作業ディレクトリ以外

帳票資源ファイルの変換処理は行われません。

※変換元ディレクトリには作業ディレクトリを指定してください。

(変換元 / 変換先) 同一ディレクトリ

帳票資源ファイルの変換処理は行われません。

※変換元ディレクトリと変換先ディレクトリを同一指定することはできません。

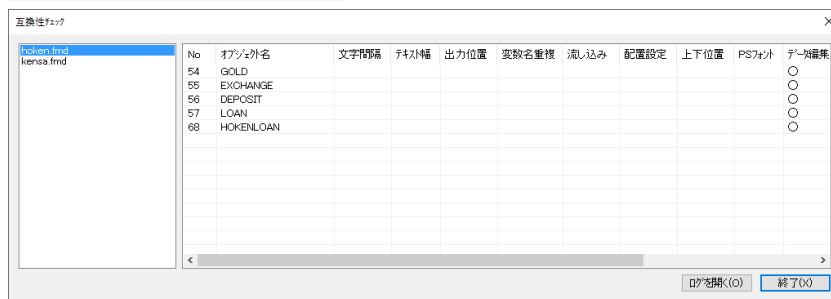
### [V11 互換性チェック]

V11 互換性チェックでは、旧バージョンとの出力の差異が発生する可能性のある項目をチェックします。

手順：

1. [変換元ディレクトリ] に互換性チェックを行う作業ディレクトリを選択します。
2. [チェック] ボタンをクリックします。
3. 旧バージョンとの出力の差異が発生する場合は、[互換性チェック] ダイアログが表示されます。

図：[互換性チェック] ダイアログ



帳票資源ファイルごとに互換性チェックの結果が表示されます。

各チェック項目に「O」が記述されている変数名は、旧バージョンとの出力の差異が発生する可能性があります。

また、このチェック結果はユーザーデータフォルダの「log」フォルダへ「UpToV11\_Diff.log」として保存されています。

ユーザーデータフォルダはマネージャの[ヘルプ]-[バージョン情報]-[バージョン情報詳細]から確認できます。

ログファイルの内容を確認する場合は、「ログを開く」ボタンをクリックします。

互換性チェックダイアログを終了する場合は、「終了」ボタンをクリックします。

※チェック項目、チェック結果の詳細については、弊社より提供しております各バージョンに対応した「アップデートマニュアル」を参照してください。

「アップデートマニュアル」については、Create!Form ユーザーサポートサイトをご覧ください。

Create!Form ユーザーサポートサイト (<https://support.createform.jp/>)

**[ ランタイム用ファイルを作成する ]**

Form ファイルを変換後に HST ファイル、HSP ファイル、HSE ファイルを作成するかどうかを指定します。

**[ ディレクトリ内のデータファイルをコピーする ]**

変換元ディレクトリ内に存在する帳票資源ファイル以外のファイルをコピーするかどうかを指定します。

**[ 変換 ] ボタン**

[ 変換 ] ボタンをクリックすると、変換処理が開始されます。

対応する変換元ディレクトリ、変換先ディレクトリの指定が正しくない場合は、エラーメッセージが表示され、変換処理は行われません。

変換処理が開始されると、[ 作業状況 ] に変換処理の経過内容が表示されます。

**[ 作業状況 ]**

変換処理を実行すると、変換処理の経過内容が表示されます。

変換処理の経過状態メッセージは以下の書式で表示されます。

変換元ファイル名 --> 変換先ファイル名 結果

例)

work. fmd ==> work. fmd [ ○ ]

work. fmd ==> work. fmd [ × ]

結果には以下のものがあります。

[ ○ ]

変換が正しく行われ、変換先ディレクトリにファイルが作成された場合に表示されます。

[ × ]

変換元のファイルが破損している場合や、ディスク容量が足りない場合など、変換処理に失敗した場合に表示されます。

[ スキップ ]

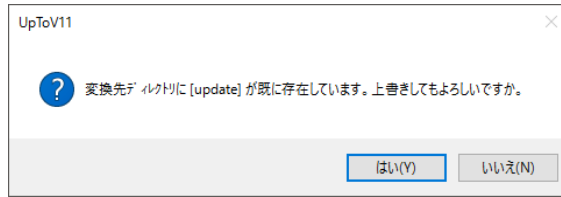
スキップした場合に表示されます ( 上書き処理をしない場合はスキップとなります )。

[ 変換対象外ファイル ]

変換元のファイルが、対応バージョンのファイルでない場合に表示されます。

変換先ディレクトリ内に変換元ディレクトリ名と同名の作業ディレクトリが存在する場合、上書き確認ダイアログが表示されます。

図：[ディレクトリ上書き確認] ダイアログ



表示されるファイル上書き確認ダイアログには以下のボタンがあります。

**[ はい ]**

変換先ディレクトリに指定したディレクトリを削除後、新規に作業ディレクトリを作成してアップデートした帳票資源ファイルを配置します。

**[ いいえ ]**

処理をキャンセルします。

変換処理が終了すると、各ディレクトリ単位で「作業状況」に変換結果が表示されます。

**[ 情報 ] ボタン**

UpToV11 のバージョン情報が表示されます。

**[ 終了 ] ボタン**

Create!Form UpToV11 を終了します。

終了時には、ログファイル作成の確認ダイアログが表示されます。ダイアログ上の各ボタンをクリックしたときの動作は以下の通りです。

**[ はい ] をクリックした場合**

終了時にユーザーデータフォルダの「log」フォルダに作業状況のメッセージと同内容のログファイル (UpToV11. log) が作成されます。

**[ いいえ ] をクリックした場合**

ログファイルを作成せずに Create!Form UpToV11 を終了します。

**[ キャンセル ] をクリックした場合**

Create!Form UpToV11 の終了をキャンセルします。

### 3. 注意事項

- ・ Form ファイルの再保存について

UpToV11 で帳票資源ファイルをバージョンアップ後に以下の操作を行う場合は、Create!Form V11 の Form エディタを使用して、Form ファイルを再保存する必要があります。

- ・ 表オブジェクトを含むフォームを使用した帳票出力
- ・ 自動マッピング機能を使用したデータのマッピング
- ・ PrintStage および PrintStage Web による帳票出力

# **Create!Form 11**

バージョンアップ 第2版

---

発行日	2018年1月
発行者	インフォテック株式会社
	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25